

●ものづくりへのこだわり●

ヨコハマズ ベスト コレクション



修理から始まった時計づくり。 IDA Watch

明治36年、横浜港は近代的な港を目指し、様々な工事が行われていました。今や横浜の観光名所となった赤レンガ倉庫が造られたのもこの頃。貿易額は年々増え、横浜港は国際貿易港として日本の表玄関となりました。

その当時、時計は一般庶民にとって気軽に買えるものではない高級品であったため、横浜港に出入りしている外国船に積まれていた時計の修理や、潮風に当たり故障した時計の修理を主にしていたのが『IDA Watch』の始まりです。

終戦後、国内外の各メーカーの時計を扱うようになり、特に舶来品の時計が人気を集めました。そんな中、元町や山手に移り住んでいる多くの外国の方や元町に買い物にいらっしゃるお客様は、人とは違うオリジナリティあふれる商品を求めていることに気づかれ、そんなお客様の想いに応えるため、40年程前に自社ブランド「field well(フィールド ウェル)」を立ち上げるに至ったそうです。時計の‘販売店’ではなく、‘製造・販売店’となった『IDA Watch』。みなとまち横浜で修理などに携わり、時計の仕組みに精通していたからこそできた、時計づくりなのです。

ユニークで遊び心のある時計づくり

自社ブランド「field well」。wellは日本語で‘井戸’、fieldは‘田畑’。そう、井田さんの名前をそのまま英語にしたのがブランド名。遊び心のあるブランド名そのままに、オリジナルの腕時計もユニークでオリジナリティ溢れるものが並びます。「先代に今でもよく言われることは、“時計屋になるな！”。初めはあまり意味がわからなかったのですが、最近になってその意味が切実にわかってきました。」と先代のお孫さんであり、株式会社 IDAのマーケティングマネージャーでもある井田 尚里(ひさり)さん。

「field well」のコンセプトである『ユニークで遊び心のある時計』をつくるには、技術的な事を追い求めすぎることではなく、常にアンテナを張って試行錯誤し、身に着けてワクワクするようなうれしさをお客様に感じていただける時計を完成させるために、精一杯努力し続けることが重要なのです。」と、語ってくださいました。

今年1月で創業105周年を迎えた『IDA Watch』。時計もファッションのひとつ。「field well」は、値段もお手頃に設定したものが多く、シーンに合わせ自由に楽しんでほしいと、横浜元町の伝統を守りつつ、常に新たな挑戦に励んでいらっやいます。

105周年記念ウォッチ完成！

時に行き詰ったり迷いが出たりと、毎回思った通りには行かないという時計づくり。完璧と思ったものがお客様に中々受け入れられないなど、トレンドを掴むのはとても難しい。けれどその試行錯誤がなければ、作り手の想いはお客様に届くはずがないと、日々努力を重ねていらっやいます。

そんな試行錯誤の上、一年越しで出来上がった時計が、「105th Anniversary Watch」！1月20日(日)発売です。

カラーで遊び、クラシカルなデザインを残しつつ、現代の雰囲気さを調和させた、とても遊び心いっぱいの腕時計です。

お気に入りの色を選び、横浜の伝統と共に新しい時を刻んでみませんか？

「105th Anniversary Watch」: 昔の時計のように秒針が別になっていたりクラシカルなデザインを残しつつ、今っぽい雰囲気がとてもお洒落です



ユニークでオリジナリティ溢れる「field well」。洋服を着替えるように、腕時計もシーンに合わせて自由に楽しんでほしいという想いからつくられています



■IDA Watch

住所: 神奈川県横浜市中区元町5-196
電話: (045)641-1212



右から、代表取締役の井田 彰さんと
マーケティングマネージャーの井田 慎也さん、
井田 尚里さん
キリンビールは横浜生まれ。
キリンビール創立100周年横浜統括支社オリジナル企画！